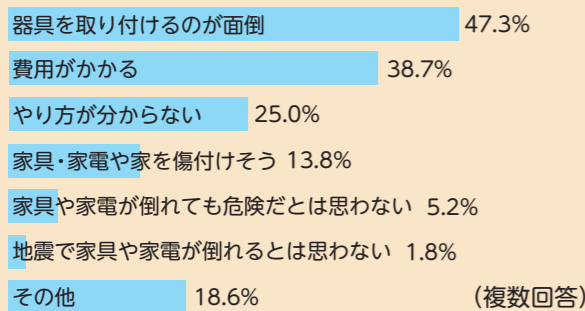
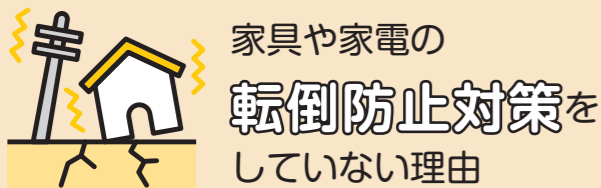


Q4



「器具を取り付けるのが面倒だから」「費用がかかる」「やり方が分からない」という回答が多くを占めています。大切な命を守るため、災害時のけがを防ぐため、まずは身近な転倒防止対策から始めてみましょう。



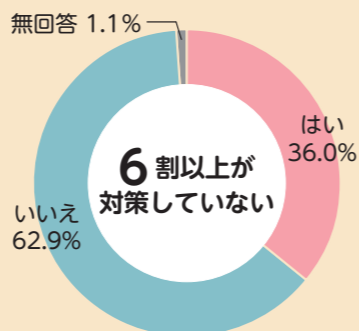
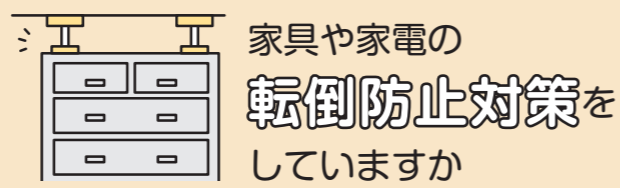
器具の取り付けを代行します！

市では、ご自宅に委託業者を派遣して家具等の固定を代行する「高知市家具等転倒防止対策支援事業」を実施しています。市内に居住し、住民登録のある方で構成する世帯であれば申し込みできます。詳しくは地域防災推進課HPをご覧ください。



申 詳 地域防災推進課 ☎823-9040

Q3

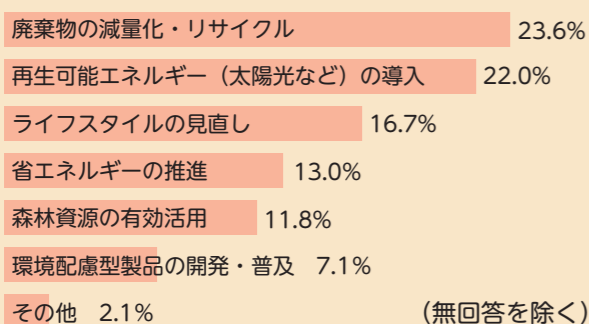


「対策をしていない」方が6割を超える結果となりました。地震等に備えて、家具の転倒防止対策を行っている方はまだまだ少ないようです。

Q6



地球温暖化防止のため
にどのようなことに
力を入れていくべきか
と思いますか



3番目に多かった「ライフスタイルの見直し」は、過去の調査と比べると回答割合が増えており、地球温暖化が身近な問題として浸透してきたことがうかがえます。環境問題は私たちの生活と密接に関係しています。温室効果ガス削減を意識した省エネルギーな生活を心掛けましょう。



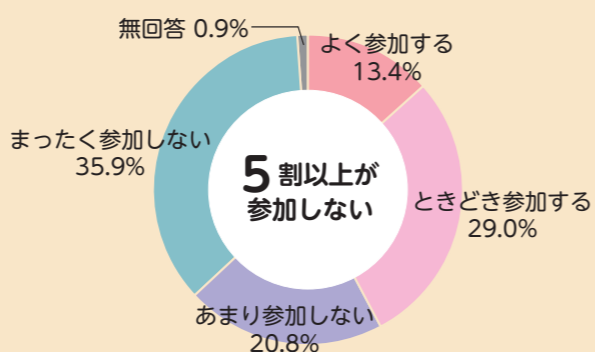
日常生活の中でも、できることがあります

- ・自転車や公共交通機関で移動する
- ・照明をLED電球に変える など
- ガソリンや電気の消費量を減らせます。

Q5



町内や地域で
行われる活動にどの
程度参加していますか



町内や地域の活動に「まったく参加しない」方が最も多い結果となりました。地域活動に参加することで世代間の交流や地域のネットワークづくりができ、非常時の助け合いなどにつながります。お祭りや清掃活動など、何か一つでも参加してみましょう。



高知市LINE公式アカウントでは
地域の情報を配信しています

ごみ収集・イベント情報などを便利に受け取ることができます。詳しくは広聴広報課HPをご覧ください。



特集 みんなはどう思ってる？
高知市のこと



市政のさまざまな分野に対する市民の皆さんのニーズを把握するため、昨年7月に市民意識調査を実施しました。無作為に抽出した満18歳以上の市民3,000人にアンケート用紙を送付し、そのうち1,489人の方から回答をいただきました。その主な結果をお知らせします。

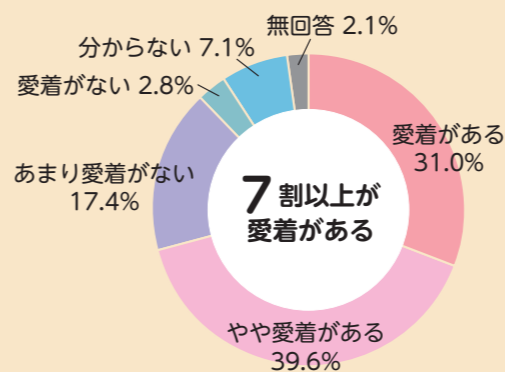
詳しい結果は、政策企画課HPで公開しています。また、情報公開・市民相談センター（本庁舎1階）では調査結果報告書を閲覧できます。ぜひご覧ください。政策企画課HPはこちら▶



Q2



地域の伝統行事や
祭り、食文化等に
愛着がありますか



過去の調査と比べると、20代や30代で、「愛着がある」と回答する方が増えてきています。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、再び各地で祭りや行事が開催されるようになりました。地域固有の文化が消滅しないために、次の世代に受け継いでいくことが必要です。

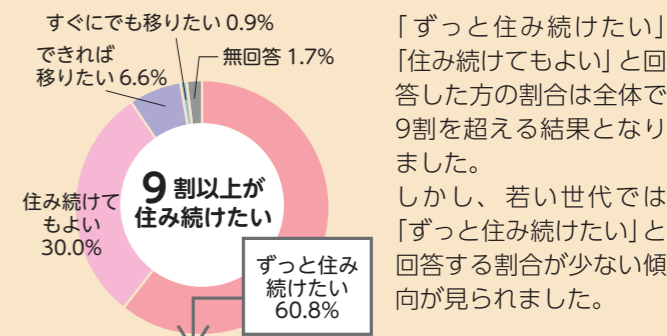


年齢が下がるにつれ、「住みたい」と回答する割合が少なくなる一方で、地域の伝統行事や祭り・食文化等に「愛着がある」と回答する20代や30代の方が過去の調査と比べて増えてきています。今後も伝統や文化を大切にしながら、若い世代も住み続けたい魅力的なまちづくりに取り組んでいきます。

Q1



今後も高知市に
住み続けたい
と思いますか



「ずっと住み続けたい」「住み続けてもよい」と回答した方の割合は全体で9割を超える結果となりました。しかし、若い世代では「ずっと住み続けたい」と回答する割合が少ない傾向が見られました。

▶年代別の割合を見てみると…



40歳以上の方の
65.0%が
ずっと住み続けたい



18～39歳の方の
41.6%が
ずっと住み続けたい